

議事（４） 医療・介護関係者の研修について

1 第1回 函館市における医療・介護連携推進に向けた多職種研修会の概要

2 p 参照

2 今後の取り組みについて

(1) 今回の研修の効果

- ・ 「退院支援」に関する課題の抽出
- ・ 今後の研修に関する意見の抽出
- ・ センターの研修機能への反映

## 別紙 研修概要書

### ○函館市における医療・介護連携推進に向けた多職種研修会

名 称	第1回 函館市における医療・介護連携推進に向けた多職種研修会
目 的	<p>医療・介護に携わる関係職種の相互理解と連携強化</p> <p>(説明) 少子高齢化が進む中、市民(患者・家族)がどこでも平等に同じケアや支援(サービス)を受けることが可能な地域づくりが目標である。 その地域づくりは医療・介護連携実務者および市民も含めた関係者が担い、函館市全体でその取り組みを継続的、横断的に行えるような体制の構築が急務である。 このような状況の中、医療・介護連携実務者の役割は大きく、本研修会においては医療・介護連携実務者の相互理解と連携強化を目的とし実施するものである。</p>
共 催	<p>函館市(函館市医療・介護連携推進協議会)</p> <p>一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会</p>
日 程	<p>平成28年2月20日(土) 14:00~16:45(予定)</p> <p>※ 研修終了後、職種を超えた交流を目的とした懇親会を予定</p>
会 場	<p>ホテル函館ロイヤル</p> <p>(函館市大森町16-9 電話26-8181)</p>
司 会	<p>一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会</p> <p>業務執行理事 八重樫 優</p>
テ ー マ	「より良い退院支援」
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「より良い退院支援」への取り組みにかかる話題提供 4題</li> <li>※ 講師予定者(事例発表など) <ul style="list-style-type: none"> <li>道南訪問看護ステーション連絡協議会 保坂 明美 様</li> <li>函館市地域包括支援センター連絡協議会 渡邊 裕子 様</li> <li>函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 越尾 賢 様</li> <li>北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部 酒本 清一 様</li> </ul> </li> <li>・グループワーク 2題 (最大25テーブル/8人掛け) <ul style="list-style-type: none"> <li>①「専門職としての退院支援について」…取り組む問題・課題とは…</li> <li>②「具体的な研修内容について」…内容・方法・成果…</li> </ul> </li> </ul>
参加対象	<p>市内の医療・介護関係者</p> <p>(退院調整実務者:医療ソーシャルワーカー, 訪問看護師, 退院調整看護師, 介護支援専門員など)</p>
参加人数	約200名(見込)
参加費用	無料 (懇親会参加費用は別途徴収 ※金額は概ね@3,000円程度)
実行委員	<p>山村 哲 (北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部)</p> <p>酒本 清一 ( )</p> <p>八重樫 優 ( )</p> <p>小棚木 大輔 (函館市保健福祉部)</p> <p>京野 尚 ( )</p> <p>金 葵 ( )</p>
備 考	アンケート実施